

地域活動専門員日誌

宮守の食材生かした料理づくりに挑戦！



家富万里さん 楽しみながら調理しました



材木町にある創作料理店「とおの屋要」の佐々木要太郎さんを講師に招いた料理教室を1月25日から3週に渡り開催しました。市内外から延べ47人が参加し、地域の生産者から提供いただいたハウレンソウなどの食材を使い、創作料理づくりに挑戦しました。身近な食材で出来るプロの調理法や盛り付け方のほか、食材の特徴を学べ、皆さまに喜んでいただけただよう。今後も宮守の食材の良さを発信できるような企画を実施していきます。

SL 運転応援企画！



SL 模型を展示！



「SL 銀河」運転を記念した企画展「鉄道模型大展示会」が2月22～24日の3日間、あえりあ遠野で開催されました。会場には150分の1スケールの鉄道模型やSL列車の部品、当時の写真などを展示。訪れた人たちは細部までこだわって作られた模型に見入っていました。このほかSLの思い出語りや、昭和25年に開通した釜石線の記念ビデオを上映。「新幹線トレインジャー」も参加し、4月12日から運転されるSL 銀河を応援しました。

1_心を込めて作ったもちを販売する児童たち 2_左が「喜りもち」、右が「復興白もち」 3_雪が舞うなか、行き交う車に、もち販売を元気に呼び掛ける児童たち



もち販売で復興へエール 産直で上郷小がもち販売

上郷小5年生による復興を願うもちの販売会は2月15日、夢産直かみごうで行われました。児童21人は産直の来客者へ元気に呼び掛け、もちを販売しました。販売したものは児童たちが地域の協力を得て生産・収穫したものを、地元の菓子店「長盛堂」が加工したものです。児童たちは限定90個のもちを産直前などでPRしながら販売しました。佐々木玲花さんは「売り上げは被災地に送られるので復興に役立てたと思う。後輩にも継続してほしい」と願いを込めました。



2_いかがですか？



1_紙芝居を披露する阿部さん 2_復興への願いを込めた歌を披露する「Cosmys」の久保正人さんとsachiさん 3_緑のふるさと協力隊の若林さんの活動報告パネルも展示

宮守に春と元気呼び込む めがね橋フェスタを開催

「春よ恋・早く恋・恋めがね橋フェス」は2月14～16日の3日間、宮守町のショッピングタウンmm1などで開催されました。

同町の地域活性化などを目的に開催し今年で4年目。15日には宮守町の語り部、阿部信子さん(72)が紙芝居「寺沢山のむじん和尚」を披露。このほか釜石や大槌で活躍する音楽ユニット「Cosmys」のライブ、緑のふるさと協力隊の若林江利子さんの活動報告のパネル展など、多彩なイベントを訪れた人たちは楽しんでいました。



1_復興への願いを込め歌声を響かせる「ちゃりんこ」 2_左から「釜石レポリューションギター同好会」の佐々木達也さん、宇生方景子さん 4_KATSUYAさん 5_「ちゃりんこ」の佐藤良治さん

届け！ 復興応援ソング

三陸復興コンサート開催

釜石と遠野の3バンドによる「三陸コンサートⅢ」は2月9日、みやもりホールで開催されました。復興応援歌などの音色に、訪れた150人は復興への思いを一つにしました。歌で復興を応援しようとのめがね橋実行委員会が開催し3回目。釜石から「釜石レポリューションギター同好会」とKATSUYAさん、遠野から「ちゃりんこ」が出演し、復興への気持ちを会場に響かせました。フィナーレにはちゃりんこが復興への思いを込めて作曲した「いつかここに」を3バンド全員で合唱。立花敬三さん(77)＝土淵町＝は「被災地と支援地の絆が見えるすばらしいコンサート。思いを込めた歌声に涙が流れました」と目頭を熱くしました。



南極の自然を肌で感じる

上郷小で南極クラス開催

南極地域観測隊員が現地での体験を伝える「南極クラス」は2月6日、上郷小学校で行われました。児童や地域住民ら150人は、南極の自然環境や同隊の活動に理解を深めました。講師は南極昭和基地で約3年間活動した井熊英治さん。井熊さんは厳しい自然環境や現地での活動内容などについてスライドで解説しました。また隊員が着用する防寒着の試着体験や南極の氷を使った実験も行われ、参加者は南極の世界に思いをはせました。佐々木葵衣さん(6年)は「南極の氷や自然、動物について詳しく知ることができて楽しかったです」と目を輝かせました。



1_南極大陸での服装を披露 2_南極の氷に興味津々 3_試着体験する児童



厳しい寒さの中、願いを込め練り歩く参加者

厳寒のみそぎで体清める

小友町の伝統行事裸参り

小友町裸参りは2月22日、同町の巖龍神社付近で行われ、参加者は家内安全や合格などへ祈りを込めました。

同町の住民や厄年の人など50人が参加。厳しい寒さの中、さらしとしめ縄姿で灯笼を片手に持ち、巖龍神社と大般若供養塔の間約300mを3往復しました。佐々木健策さん(40)＝小友町＝は「25年ぶりの参加です。身も心も清められた感じがして今年一年健康に過ごせそうです」と、遠野西中1年の佐々木千宙君＝宮守町鱒沢＝「小友の友人に誘われて初めて参加しました。野球でレギュラーになることを祈りました」とそれぞれ願いを込めました。